

II. 鳥取県の経済動向（2022年2月2日鳥取県公表）

1. 基調判断【持ち直しの動きに足踏みが見られる】

生産面の指標などが押し上げ、一致指標は単月、3ヵ月平均ともに前月比プラス。景気の基調としては、持ち直しの動きに足踏みが見られる。先行指数は足元で下振れ、先行きは、足踏みが見込まれる。

景気動向指数（D I*）		2021年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
一致指数	原指数	42.9	85.7	14.3	42.9	28.6	71.4
	7ヶ月平均	67.3	67.3	59.2	57.2	49.0	53.1
先行指数	原指数	57.1	42.9	28.6	35.7	71.4	71.4
	7ヶ月平均	69.4	67.3	61.2	54.1	52.0	52.0

*D I 指数＝3か月前と比較して改善した指標の数÷採用された指標の数の指数が50を割ると景気が良くないと判断される。

2. 鉱工業生産動向【持ち直しの動きに足踏みが見られる】

パルプ・紙・紙加工品などが下振れるも、汎用・生産用・業務用機械や食料品・たばこなどが押し上げ、生産指数は前月比プラス。基調としては、持ち直しの動きに足踏みが見られる。先行きは、原材料不足などの影響もあり、不透明感も。

（前月比の単位：％）

鉱工業生産指数		2021年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
全体	生産指数	92.9	93.9	90.7	93.5	91.1	93.1
	前月比	▲0.3	1.1	▲3.4	3.1	▲2.6	2.2
	出荷指数	102.4	102.0	97.2	99.4	93.9	95.1
	前月比	▲0.4	▲0.4	▲4.7	2.3	▲5.5	1.3
	在庫指数	106.5	110.5	115.0	112.2	115.1	114.4
	前月比	3.3	3.8	4.1	▲2.4	2.6	▲0.6
電子部品・デバイス	生産指数	93.3	90.4	94.2	96.4	89.9	85.8
	前月比	▲4.3	▲3.1	4.2	2.3	▲6.7	▲4.6
電気・情報通信機械	生産指数	72.7	79.3	73.6	78.7	71.5	69.2
	前月比	▲16.9	9.1	▲7.2	6.9	▲9.1	▲3.2
食料品・たばこ	生産指数	87.9	94.2	82.3	86.7	89.6	97.6
	前月比	1.4	7.2	▲12.6	5.3	3.3	8.9
パルプ・紙・紙加工品	生産指数	98.3	103.4	102.9	94.8	107.9	83.3
	前月比	13.1	5.2	▲0.5	▲7.9	13.8	▲22.8

3. 消費動向【持ち直しの動きに足踏みが見られる】

大型小売店および乗用車は依然として低調な動きが続く。ホームセンター・家電量販店はマイナスに振れ戻る。消費全体としては、持ち直しの動きに足踏みが見られる。先行きは、やや厳しい状況が見込まれる。

(単位：百万円、%)

大型小売店販売額		2021年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計	販売額	4,477	4,644	4,558	4,139	4,362	4,763
	前年同月比	▲4.1	▲2.8	▲3.8	▲5.3	▲3.3	▲0.5
百貨店	販売額	1,070	1,065	920	933	1,002	1,288
	前年同月比	▲5.3	▲11.4	▲4.5	▲7.8	▲2.5	▲0.4
スーパー	販売額	3,407	3,579	3,638	3,206	3,360	3,474
	前年同月比	▲3.7	0.0	▲3.7	▲4.6	▲3.5	▲0.6

○11月全体：48億円、前年同月比 0.5%減（6ヵ月連続）

○11月百貨店：13億円、" 0.4%減（6ヵ月連続）

○11月スーパー：35億円、" 0.6%減（4ヵ月連続）

(単位：前年同月比、%)

ホームセンター 家電量販店販売額		2021年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計		▲21.7	▲2.5	▲20.1	▲4.4	0.2	▲3.3
ホームセンター		▲14.2	▲0.3	▲14.3	▲2.3	▲0.8	2.6
家電量販店		▲28.6	▲4.5	▲26.0	▲6.6	1.5	▲9.6

○11月全体：26億円、前年同月比 3.3%増（2ヵ月ぶり）

○11月業態別

・ホームセンター：14億円、" 2.6%増（7ヵ月ぶり）

・家電：12億円、" 9.6%減（2ヵ月ぶり）

(単位：前年同月比、%)

乗用車新車新規 登録台数		2021年					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		▲13.7	5.1	▲34.4	▲32.2	▲8.7	▲14.5
登録車		2.4	18.1	▲32.6	▲34.0	▲10.0	▲8.4
軽自動車		▲29.0	▲6.7	▲36.3	▲30.0	▲7.2	▲22.6

○12月全体：1,446台、前年同月比 14.5%減（4ヵ月連続マイナス）

・登録車：8.4%減（4ヵ月連続：普通車 1.6%増、小型車 19.5%減）

・軽自動車：22.6%減（7ヵ月連続）

4. 雇用動向【一部に持ち直しの動き】

新規求人倍率は前月比プラス、有効求人倍率はマイナス。所定外労働時間は、2021年1月の調査対象事業所の入替えによる影響もあり、製造業は大幅な前年同月比プラス、全産業もプラスが続く。基調としては、一部に持ち直しの動き。

(単位：倍)

有効求人倍率	2021年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	1.43	1.40	1.37	1.35	1.35	1.33
前月差	▲0.01	▲0.03	▲0.03	▲0.02	0.00	▲0.02

(事業所規模 30人以上、2015年=100)

所定外労働	2021年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査産業計 (1人当たり時間)	9.0	9.0	8.6	9.5	9.3	9.7
労働時間指数の 前年同月比 (%)	15.3	9.7	22.8	13.1	12.0	9.0
うち製造業 (%)	76.6	64.3	67.4	70.5	51.1	40.2

5. 企業倒産動向

2021年の倒産件数は15件で前年比4件減、負債総額は21億1400万円で前年比48.4%減となった。件数、負債総額ともに2000年以降で最小となっている。内訳は建設業が2件、製造業が3件、卸売行が2件、小売業が4件、運輸・通信業が1件、サービス業が3件となっている。(15件すべてが販売不振による不況型倒産で、新型コロナウイルス関連倒産は3件)

倒産企業の従業員数別は10人未満が13件(前年14件)、10人以上50人未満が2件(前年5件)。

年	倒産件数	負債総額	年	倒産件数	負債総額
2016年	32件	51億51百万円	2019年	19件	29億21百万円
2017年	22件	24億92百万円	2020年	19件	40億98百万円
2018年	22件	39億22百万円	2021年	15件	21億1400百万円

6. 消費者物価指数(2021年)

2021年12月の鳥取市の消費者物価指数は、総合で99.5(2020年=100)となり、前年同月比は0.7%の上昇、前月比は0.1%の下落となった。

前年同月比の変動に寄与した要因は光熱・水道、食料、教養娯楽、諸雑費、住居などの上昇、交通・通信、保健医療などの下落である。

(2020年=100)

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
97.8	98.4	99.9	100.4	100.0	99.3
1月	2月	3月	4月	5月	6月
99.6	99.6	99.6	98.8	99.0	99.0
7月	8月	9月	10月	11月	12月
99.2	99.2	99.4	99.2	99.5	99.5